



大地震の後でひなんするとき、イヌやネコなどのペットはどうしたらいいの

連れていけない

大地震の後のひなん場所は、公園や体育館、公民館などが多く使われています。ひなん場所には、たくさんの人が集まっていて、寝たり、座ったりする場所も、少なくなっています。また、ひなんしてきた人たちは、地震のショックで気がめいって、元気をなくしていたり、落ち着かない気持ちになっています。

このような場所に、イヌやネコなどのペットを連れていくことは、ほかの人の迷わくになります。それで、ペットは、連れていけないようにします。

イヌは知り合いの人にあげる

ネコは人に慣れるよりも、家に慣れるといわれています。もし、ネコをひなん所に連れていったとしても、住んでいた家に帰ってしまう、とおわれます。

ネコはそのまま家においておいても、自分でえさをさがして、何とか生きていけるとおわれますので、そのままおいていきます。

イヌはそのままおいてくると、人にかみついたりして迷わくなるので、知り合いの人にあげてもらおうなど、ふだんから、世話をしてくれる人をさがしておきます。また、小鳥を飼っていたら、鳥かごから放してやりましょう。（監修・国司 真）

